

【湯河原町】

校務 DX 計画

1. 「校務 DX チェックリスト自己点検結果」における課題等について

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」(令和 5 年度)に基づく自己点検結果(確定値)より、本町の達成状況の得点は以下の通りである。

	達成状況得点	神奈川県全域平均得点
学校	298.5	352.5
学校設置者	125	241.9

学校及び学校設置者いずれも、神奈川県全域平均得点より下回っていた。その理由として以下が考えられる。

- ・学校向け回答状況より、校務におけるクラウドサービス活用に関する課題がある
- ・学校設置者向け回答状況より、現状校務環境におけるクラウド化が未対応である。

今後の方策として、校務 DX における町独自で実態調査を行い、その結果を基に校務 DX に向けた改善を図る。

2. FAX・押印の見直しに向けての検討

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」(令和 5 年度)に基づく自己点検結果(確定値)より、FAX・押印に関する回答が以下の通りである。

- ・業務に FAX を使用している学校 : 100%
- ・保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類がある学校 : 100%

本町として、FAX 及び各種書類における押印の見直しを行うと共に、学校に対して FAX での書類送付や押印を求めている関係団体・事業者等を把握し、制度・慣行の見直しを求めるよう働きかけを行うこととする。

3. 校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃に向けての検討

現状、校務支援システムへの手入力作業の一掃に向けたシステムが未導入となっている。教職員の負担として、日々の校務支援システムへの児童・生徒の出欠席情報の入力と考えられる。今後、本町で導入している校務支援システムと連携して、タブレット端末を利用し普通教室で児童生徒の出欠席情報の入力ができるシステムの導入を視野に検討を行うこととする。

4. クラウド環境を活用した校務 DX の積極的な推進に向けての検討

文部科学省では、クラウド環境を活用した校務環境に関し、教育 DX に係る当面の KPI として、以下を示している。

- ・クラウド対応の教育情報セキュリティポリシー策定済みの自治体：
49.1%（R5）→100%（R7）

本町では、教育情報セキュリティポリシーを策定しておらず、自治体のセキュリティポリシーを適用している。クラウド環境を活用した校務 DX を促進するために、教育委員会独自で教育情報セキュリティポリシー策定に向けた検討を行うこととする。

5. 次世代の校務システムの導入に向けた検討

文部科学省では、次世代の校務システムの導入に関し、教育 DX に係る当面の KPI として、以下を示している。

- ・次世代の校務システムを導入済の自治体の割合：
現状未把握→100%（R11）
- ・教職員の働き方改革にも資するロケーションフリーでの校務処理を行っている自治体の割合：
現状未把握→100%（R11）

本町では、令和 10 年度に中学校、令和 11 年に小学校の校務環境の更改を控えている。時期校務システムの導入に向け、先述の教育情報セキュリティポリシーの策定と併せ、校務系ネットワークの再構築・既設のオンプレミスサーバーのクラウド移行に向けた検討を行うこととする。